

株式会社 アルシュ *arche**arche Journal*

アルシュ ジャーナル

住まいに関するあれもこれも・・・

いろいろなお役立ち情報をまとめてお届けします！！

目次：

調湿建材 湿度調節に強い味方	1
バリアフリー住宅 安全で暮らしやすい家造り	2
家庭用洗剤 混ぜるな危険の再確認を！	2
お買得情報 LEDシーリングライト	3
家事メン あなたのパートナーは？	3
緑内障 失明の危険… 進行の気づかない病気で	3
インタVIEW!大募集！ 西宮市Nマンション	4
フーデニングで エコ生活を！	4



調湿性壁材
エコカラット
(LIXIL)

1年の締めくくり“師走”がやってきました

早いもので、2012年も最後の月ですね。巷では“今年の重大ニュース！”など1年をまとめる話題をたくさん耳にします。

“師走”にはいろいろな諸説があるそうですがとにかく誰かと忙しくて走り回るとい言葉だとか…。12月と聞いただけで「あれもしなきゃ！」「これもやっておこなきゃ！」と気ぜわしさを感じてしまいます。

その忙しさを感じながらこの1年を振り返るのも12月ですよね。

2012年はみなさんにとって、どんな1年でしたか？

アルシュの窓



▲テーマ：クリスマス▲

アルシュの窓にも
クリスマスがやってきました(^o^)

調湿建材 湿度調節に強い味方

住まいの湿度調節の大切さは前号でもご紹介しましたが換気だけでは、なかなかまかないきれないのも現状ではないでしょうか？

そこで住まいの湿度調節に強い味方である“調湿建材”についてご紹介します。

調湿建材とは、読んで字のごとく“室内の湿度を調節することができる建材”のことを言い多孔材料であり小さな空隙（細孔）を持っています。室内の温度が高くなるとその細孔が湿気を吸収し、乾燥してくると水分を放出する構造のため湿度調節ができるのです。

現在多くの調湿建材が市販されていますが、材質的に大別すると木材・木チップ・パルプなどの木質系と粘土鉱物などの土質系、天然石材・合成無機質鉱物などの石質系とがあり形状はボード状、タイル状、下地などに使用する塗材など様々です。また下地や仕上材など施工方法も分かれていますので、それぞれの効果や性能がわかりにくかったこともあり、

統一的な性能の評価を行うため（財）建材試験センターでは平成18年3月より調湿建材の調湿性能評価基準を設け、品質と性能の証明を行い基準に達している建材には証明書の交付を行っています。また（社）日本建材・住宅設備産業協会では、その基準を満たしている調湿建材には認定マークを表示する制度を設け性能の標準化に努めています。

株式会社LIXILの製品“エコカラット”は国内初の調湿建材として登録を受け、シックハウス症候群の原因ともなるホルムアルデヒド低減建材の認定も受けています。また生活臭の原因物質を吸収する働きもあり、さまざまな場所で効果が発揮できるよう多彩なシリーズを設けています。

住まいにも調湿建材を取入れてより良い湿度コントロールを！！

(財)建材試験センター <http://www.jtcom.or.jp>
(株)LIXIL エコカラット <http://ecocaratt.jp>

バリアフリー住宅 安全で暮らしやすい家づくり



バリアフリー住宅
(長寿社会対応住宅)

長寿国日本の住まい
における必要課題の
一つです

家の中にいると守られているような安心感があります。しかし家庭内で起こった不慮の事故は、年間数十万件も発生していてそのうち約1万人が命を落としているという結果が出ています。この数は交通事故の死亡者数とほぼ同じで、家の中だから安心という考えを改めなければいけません。家庭内で起こる不慮の事故は幼児と高齢者が大半を占めていて、その原因は窒息、次いで溺死、転倒によるものが多くいろんな箇所です。

また日本は世界一の長寿国です。厚生労働省の試算では2020年4月には4人に1人が高齢者になると予想されています。そこで住まいは年齢構成を含めたライフスタイルの変化に対応していく必要があります。若い時はなんでもなかった段差でも、歳をとってからつまづいて転倒してしまう可能性が多いにあるからです。つまり住まいとは“いつまでも安全で暮らしやすい家”が理想と言えます。

そこで最近関心が高まってきているのが、“バリアフリー住宅”（長寿社会対応住宅）バリアフリー住宅とは、高齢者でも若い人と同様に不自由なく暮らせるように配慮した住宅で「室内の段差を極力なくす」「玄関や廊下、浴室やトイレなどに手すりを付ける」「車椅子が通れる間口や通路を確保する」などこれらを含め一定以上の基準を満たした住宅のことで、高齢者だけでなく妊婦や幼児、健常者にとっても住みやすく家庭内の不慮の事故を未然に防ぐ環境と言えます。

ただ一口にバリアフリーといっても人それぞれ状況が違うので、形式的な基準を満たすかどうかより自分たちの暮らしにマッチしているかが大切なことです。

住まいのバリアフリーはこれからの家づくりに欠かせない必要課題の一つになるでしょう。

家庭用洗剤 混ぜるな危険の再確認を！



塩素系と酸性の洗剤
を混ぜると発生する
塩素ガス!!

第1次世界大戦では
人類初のガス兵器と
して使用されました

家庭用品品質表示法により、家庭用洗剤に“混ぜるな危険”の表示が義務付けられてから20年以上経つにも関わらず、家庭用洗剤の事故はあとを絶ちません。そこで改めて家庭用洗剤についてお話ししたいと思います。

まず、何と何を混ぜてはいけないのか。これはみなさんよくご存知だと思いますが塩素系と酸性の洗剤です。この二つを混ぜると猛毒である塩素ガスが発生します。

（そんな危険がガスが、日常生活で簡単に発生してしまうのもどうかと思いますが）しかしこれらの洗剤が思いも寄らないところで混ぜってしまうことがあり、ここでは実際にあったケースをご紹介します。

<浴室>

タイルの床にカビ取り用の洗剤をまいた後鏡や窓をガラス磨きの洗剤で洗っていると苦しくなり救急車で運ばれた。

※カビ取り剤は塩素系・ガラス磨きは酸性

<トイレ>

便器に固形の排水口洗剤を入れた後、トイレ用洗剤で便器を洗い呼吸困難や手足のしびれを引き起こした。

※排水口用洗剤は塩素系・トイレ用洗剤は主に酸性

<台所>

排水口のヌメリ取り用洗剤を使用しながらシンクの水あか取りのためペーパーに酢を染み込ませたものを貼り付けていたら、しばらくして、気分が悪くなった。

※ヌメリ取り用洗剤は塩素系・酢は酸性
生ゴミにレモンの絞ったカスが残っていてそこに塩素系洗剤が混ざりガスが発生したことも(>_<)。また塩素系洗剤はアルコールと混ぜても有毒ガスが発生します。

これから大掃除の季節。洗剤の使用には、くれぐれもご注意を！

お買得情報 各メーカーの協力によりお値打ち価格でお届けします。

お買得情報は、各メーカーにご協力いただき、システムキッチンからオーダーカーテン、家電製品にいたるまで、毎号選りすぐりの商品をお値打ち価格にてご提供させていただきます。

今回は、パナソニックより「LEDシーリングライト」をご提供いたします。私たちの日常に欠かせない明かり。ロウソクが主流だった生活にガス灯が登場したのが1810年代。その後、白熱灯→蛍光灯と発明が進み、今や第4世代の明かりとしてLED照明が主流になりつつあります。しかし一般家庭でのLED電球の普及率は10%強とまだまだ低いもので、その原因

は価格の高さが一番の理由だそうです。そこで今回は、LEDシーリングライトをメーカー希望小売価格の半額を切った**¥12,000円（税込）**でお届けします。寝室や子供部屋などにおすすめの6畳用タイプ。調光・調色タイプなのでリモコンで簡単に光色を昼光色、昼白色、電球色と切り替えができ、明るさを自在に調節できるので、お部屋を快適に演出できます。特別価格でのご提供ですので**限定10台**とさせていただきます。新年を新しい照明でとお考えの方は、この機会にぜひご検討ください。



パナソニック電工
LEDシーリングライト
LSEB1018（～6畳用）
メーカー希望小売価格
¥28,350円

↳ ご提供価格
¥12,000円（税込）

家事メン あなたのパートナーはどうですか？

現代社会にはさまざまな“〇〇メン”が誕生しています。カッコイイ男性の呼び名である“イケメン”子育てを積極的に行う男性を“育メン”そして最近では家事をなんでも率先してこなす“家事メン”が女性たちの支持を受けているそうです。あるアンケートで、家事について妻の夫への不満は“もっとたくさんやって欲しい”が第1位（25.9%）で家事の分担量について妻の夫への不満が圧倒的に多いことがわかります。共働き世帯が増え、男性が家事をする機会が確実に増えてきている今、率先して家事に取り組む“家事メン”こそが、

円満な夫婦生活に欠かせなくなってきました。また夫婦だけでなく家事検定実行会が行った調査によると、約6割の女性が「家事をする男性はカッコイイと思う」と回答していることからみても、家事メンこそがモテメンへの近道！と言えるかもしれません。また最近では、スマートフォンと合わせて使うスマート家電など男性が興味を持つような製品が登場しているので、よりいっそう率先して家事をこなす理想的な家事メンが増えることを期待したいですね。



かじメンの最上級は
家事もできて夫婦生活の
舵をとってくれる
家事メン+舵メンです。

緑内障 失明の危険… 進行の気づかない病気です

緑内障とは、何らかの原因で眼圧が高くなり視神経が圧迫され視野が狭くなったり部分的に見えなくなったり、ひどくなると失明の危険性がある病気で糖尿病網膜症を抜いて視覚障害の原因の約25%を占めています。40歳以上の約20人に1人が緑内障にかかっていると推測されていますが、その9割の人は気づいていないと言われています。それは長期間でゆっくりと症状が進むケースが多く、脳は視野がかけている部分を無意識に補うため、あたかも見えているように感じるので気づかないのです。

欠けてしまった視野は、現在の医学では元に戻すことはできませんが症状の進行を抑えることはできるようです。

また急激に眼圧が上昇する急性緑内障もあり、治療が遅れると1～数日で失明する可能性があります。突然の激しい頭痛や吐き気、目の充血、眼痛などが同時に起きたときは早急に眼科の検診を受けることをお勧めします。

※自己チェックができるサイト
緑内障啓発サイト NTG40.jp
<http://www.ntg40.jp>



失明の危険性もある“緑内障”
早期発見、早期治療が
進行を遅らせる第一歩！
定期的な検診を心がけましょう

インタビュー! 大募集!!



当誌にてご自宅を公開していただけるお客様を募集します。ご自宅にお伺いして写真撮影・インタビューをお願いします。(もちろん、顔写真無しの匿名でも大歓迎です)気に入っている点そうでない点も含めてお話をいただければと思います。各営業担当にお気軽にお問合せ下さい。

西宮市泉町にあるNマンションのリノベーション施工例をお届けします

4LDKの平均的な間取りを大胆に3LDKへと全改装しました。リビングの奥にあった和室を取り除き広くしたことで新たなくつろぎの空間が生まれました。



写真左：壁一面に造り付けの棚で大容量の収納スペースに。物で溢れていた玄関周りがスッキリと片付きました。

写真右：キャビネットを取り外しカウンターにしたことでお手入れもしやすく洗い場も広々となって、より一層癒しの場所に。



壁付だったキッチンを変えてアイランド型の対面キッチンに変更。料理をしながらリビングも見渡せる開放的なキッチンへと生まれ変わりました。

フーデニングでエコ生活を!!



フーデニングとは、フード+ガーデニングという造語で、いわゆる家庭菜園のことですが、庭や畑などで土壌をつくり野菜を栽培し収穫するというイメージではなく、もっと身近で手軽に植物の成長を鑑賞しながら食べる楽しみに繋げるというもので、栽培キットなどもたくさん販売されています。その中でも最も手軽にできるキッチン菜園は、普段捨ててしまうような野菜の切れ端を再び食材として再生するエコ(節約)生活!!です。本格的なプランターや植木鉢がなくても、使わない食器や空き箱、ペットボトルなどで代用でき“料理後のネギの根を水につけて伸びてきた部分をまた使ってます!”なんていうのも立派なフーデニングです。また土に虫が付かないか心配…、毎日の水やりが少し面倒…という方には、土の代わりに玉粘土を発泡させたものをベースに水や水溶液だけで栽培をするハイドロカルチャーなるものがあるそうです。

手軽でエコなフーデニングで再生野菜を育てましょう!!

当誌では、『我が家のエコ生活!!』をどんどんご紹介していきたいと思っています。楽しくなるようなひらめきや工夫でエコライフを楽しんでいる方のお話をお聞かせください。その他、ご質問や取り上げてほしい話題、我が家のペット自慢等々また皆さまから率直なご意見・ご感想もお待ちしております。お気軽にお寄せください。

ご意見・ご感想・お問合せは・・・

株式会社 アルシュ arche

〒564-0063 吹田市江坂町1丁目9番17号

TEL : 06-6380-5420

FAX : 06-6380-5421

email : arche@blue.ocn.ne.jp

URL <http://www.arche-arche.net>